

テーマのある旅 ヨーロッパピーススタディツアー

2019年9月参加

夏季休暇の間に何か行動を起こしたいと考え、このツアーに行くことを決めました。すべて印象深かったのですが、一番はアウシュヴィッツでした。ホロコーストはナチがやったこと、で終わらせるのではなく、同じ人間が犯した過ちであるという自覚を持つこと、過去について知って学んで、その過去を後世に伝えていくこと、これらが今生きている私たちの使命であり責任であると考えました。人種、宗教が違う人々がなぜこの世界で共存して生きていくことが出来ないのか、そんな新しい問いが生まれる場所でもありました。個人の旅行では行くことのない場所や、街を歩いているだけでは分からないようなその地区の歴史を知ることができ、貴重な体験ができた10日間でした。日本国内のことはもちろん、今までよりもっと世界に目を向けて、多くの出来事について知ってこうと感ずることができたスタディツアーでした。空港で初めて出会ったツアーメイトは出身地も大学も学部もバラバラでしたが、帰る頃には本当に別れが寂しくなるくらいでした。次会える日まで何か目標を持って頑張ろうと思えるような存在になりました。

立命館大学2年 伊藤萌絵

写真館



世界遺産 ワルシャワ旧市街



ベルリンの壁

ヨーロッパピーススタディツアー

体験談



アウシュヴィッツ収容所

アウシュヴィッツ



犠牲者のかばんの山



クラクフ旧市街広場

クラクフ



アンネ・フランクの隠れ家

アムステルダム



アンネ像



ベルリンのホロコースト記念碑



ゲットーの地中から発掘されたミルク缶

ワルシャワ



ドイツ国際平和村 オーバーハウゼン



ドイツ国際平和村で治療を受ける子どもたち



連邦議会議事堂

ベルリン

ヨーロッパピーススタディツアー(ワルシャワ~アムステルダム)に同行します



石岡史子 fumiko ishioka

NPO法人ホロコースト教育資料センター代表
ホロコースト史を教材とした命や人権の教育活動
に取り組む。世界的ベストセラー『ハンナのかばん』
の登場人物。
愛知教育大学非常勤講師。

「『ホロコーストの記憶』を歩く」



石岡史子、岡裕人著
(子どもの未来社刊)

ベルリンに点在するナチ時代の記念碑やアンネ・フランク、杉原千畝の記憶をたどる一冊。

「ハンナのかばん」



カレン・レビン著
石岡史子訳(ポプラ社刊)

13歳で殺された少女ハンナのかばんが日本に届いた。アウシュヴィッツ・プラハ・東京が舞台の感動の実話。

詳しくはこちら → <https://www.npokokoro.com/europe>



コースNo. 101 ★東京発着

ポーランド・ドイツ・オランダを巡る ヨーロッパピーススタディツアー

11
日間

旅行代金(東京発着) お一人様あたり

出発日	旅行代金(燃油サーチャージ込)
9月3日(木)	425,000円

札幌・名古屋・大阪・福岡国内線追加代金(JALのみ、往復) **22,000円**
 1人部屋追加代金 **70,000円**
 相部屋条件:6/15までの相部屋希望を受付けます。期日以降はP5をご覧ください

- 食事:朝食8回・昼食2回・夕食3回(機内食を除く)
 - 最少催行人員:6名(定員15名)
 - 添乗員:添乗員は同行しません。現地係員がお世話します。
 - 利用予定ホテル:下記の別表をご覧ください。
 - 利用航空会社:フィンランド航空(エコノミークラス)
 - パスポート残存期間:出国時3ヶ月以上+旅券の査証欄の余白が2ページ以上必要
- ※下記は旅行代金に含まれませんので、旅行代金と合わせてお支払いください。(2020年3月1日現在)日本国内の空港施設使用料(成田:2,130円)、旅客保安サービス料(成田:530円)および国際観光旅客税1,000円

【札幌・名古屋・大阪・福岡発着の方へ】
 国際線の発着は原則成田空港となり、国内線は別手配となります。満席等で予約できない場合はご利用いただけません。基本、往後羽田便での手配となり、羽田〜成田空港間は各自移動、交通機関はお客様自身の手配・負担となります(移動例:リムジンバス片道3,200円/2020年3月1日現在)。また、乗り継ぎによって前後泊となる場合も宿泊費はご自身の負担となります。P33の注意事項を必ずご確認ください。

日程

日	出発地	到着地	内容
1	9/3(木)	成田 ワルシャワ	10:00~13:00 空路、ワルシャワへ(ヘルシンキ乗換) 17:00~20:00 到着後、係員の出迎えを受け、専用バスでホテルへ ホテルチェックイン後、夕食交流会 田ワルシャワ泊 〇〇〇
2	9/4(金)	ワルシャワ	【午前】【世界遺産】首都ワルシャワの歴史地区など市内見学。王宮広場やワルバカンなど、第二次世界大戦で徹底的に破壊されたながらも戦後市民の力で再現されよみがえった旧市街を散策 【昼】昼食(ポーランド料理) 【午後】ポーランド・ユダヤ人の歴史博物館 1000年に及ぶポーランドのユダヤ系市民の歴史を伝える博物館。第二次大戦時のナチ・ドイツ占領下の歴史を中心にガイドの案内で見学します 【夜】各自自由に夕食 田ワルシャワ泊 〇〇〇
3	9/5(土)	ワルシャワ クラクフ	【午前】【世界遺産】リングルアルムアーカイブ 戦後瓦礫と化したワルシャワ・グットーの地中から発見されたグットー日記を見学 【夕刻】ワルシャワ中央駅より、列車にてクラクフへ 着後、専用バスにてホテルへ 田クラクフ泊 〇〇〇
4	9/6(日)	クラクフ	【午前】【世界遺産】アウシュヴィッツ・ビルケナウ強制収容所跡博物館 同博物館公認ガイドの案内で見学 田クラクフ泊 〇〇〇
5	9/7(月)	クラクフ	【午前】カジミエシュ地区(旧ユダヤ人街)見学 ユダヤ・コミュニティセンターでワークショップ 【昼】各自自由に昼食 【午後】【世界遺産】クラクフ旧市街見学 【深夜】国際寝台列車(クワシエツまたは2等)にてベルリンへ 車中泊 〇〇〇
6	9/8(火)	ベルリン	【午前】到着後、係員の出迎えを受けホテルへ 【午後】ヴァンゼー会議記念館 ナチ高官や外務省、法務省の代表が集まり、ヨーロッパのユダヤ人虐殺計画を議題にして開いた会議の現場。現在は、外交官や警官、法律家や学生たちが研修で見学に訪れる歴史教育センターです。博物館ガイドの案内で見学。 【夜】各自自由に夕食 田ベルリン泊 〇〇〇
7	9/9(水)	ベルリン	【午前】ベルリンの壁ウォーキングツアー 現地ガイドの案内で公共交通機関を使いながら、東西冷戦時代の歴史をたどります。 【午後】自由行動 ご希望の方は映画「ワルキューレ」の舞台「ドイツ抵抗記念館」までご案内します。 田ベルリン泊 〇〇〇
8	9/10(木)	ベルリン オーバーハウゼン	【朝】朝食後、ホテルを出発 列車と専用バスにてドイツ国際平和村へ 【午後】ドイツ国際平和村で活動をし、子どもたちと交流 【夕刻】専用バスにて夕食会場、その後ホテルへ 田デュースブルグ泊 〇〇〇
9	9/11(金)	オーバーハウゼン アムステルダム	【午前】朝食後、ホテルを出発、列車にてアムステルダムへ 【午後】アンネ・フランクの隠れ家見学(予定) 田アムステルダム泊 〇〇〇
10	9/12(土)	アムステルダム	【午前】係員と共に空港へ 10:00~13:00 空路、帰国の途へ(ヘルシンキ乗換) 機中泊 〇〇〇
11	9/13(日)	成田	08:00~11:00 着後、解散 〇〇〇

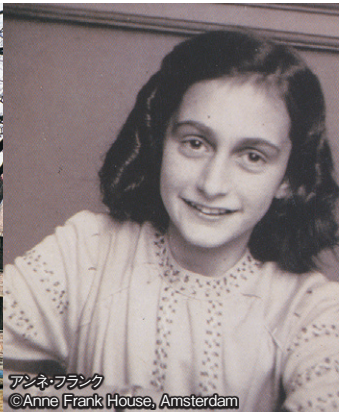
旅行企画・実施 全国大学生生活協同組合連合会 旅行センター

※訪問先は訪問先団体・機関の都合により別の組織や機関へ変更、又、日程や順番が変わる場合があります。
 ※9/7の寝台列車は他のお客様や男女同 compartment になる場合があります。

あんしんダイヤル24時間対応! 海外旅行保険&サポート付き! 早期予約 10,000円割引 (パンフレット記載の旅行代金より) ●6/15(月)までにお申し込みの方対象。



アウシュヴィッツ収容所跡



アンネ・フランク ©Anne Frank House, Amsterdam

アウシュヴィッツの歴史から「いま」と「未来」を考える

毎年150万人を超える人たちが世界遺産「アウシュヴィッツ」を訪れています。さまざまな国や民族の人々が、ここで「人間」がつくり出した悲劇に思いをはせます。科学技術、医学、芸術、法律、信仰……すべてが間違った方向にねじまげられた悲劇の結果が、ここほど雄弁に平和の切実さを語りかけてくる場所はありません。この場所に立ちみると、きっと皆さんの価値観がゆさぶられることでしょう。政治も経済も、私たち一人ひとりの暮らしも、ますます地球規模で密接に関わり合っています。私たちはどのように、この共生の時代を歩んでいけばいいのでしょうか。今なお続く差別や暴力、紛争に、どう向き合っていけばよいのでしょうか。“人間を知る”、“世界を知る”旅と一緒に出かけましょう!

ヨーロッパ・ピーススタディツアーのポイント

三カ国の史跡を見学し、国際協力NGOを視察します

【ポーランド】世界遺産のワルシャワ、クラクフ、アウシュヴィッツ

シヨパンやコペルニクス、キュリー夫人など世界的な著名人を輩出したポーランド。長く列強に翻弄された苦難の歴史を持つ国でもあります。ワルシャワとクラクフの歴史地区を歩き、ナチ時代の最大規模の絶滅・強制収容所アウシュヴィッツを見学します。

【ドイツ】首都ベルリンと国際協力NGOを視察

- ベルリン - 第二次世界大戦とナチス、冷戦時代の歴史をたどります。
- ドイツ国際平和村 - 紛争地域で傷ついた子どもたちをドイツに連れてきて治療し、治ったら母国へ帰す「援助飛行」という活動を行っているNGO。活動について学び、子どもたちとの交流も予定しています。

【オランダ】自由の街アムステルダム

ナチの迫害を逃れ、アンネ・フランクが身を潜めた隠れ家を見学します。自由、平等、平和に生きたいと願い綴られたアンネの言葉は今も世界の人々の心を動かしています。



新訂増補版
アウシュヴィッツ
博物館案内 中谷 剛(凱風社)

参考図書

- ◆「夜と霧(新版)」ヴィクトール・E・フランクル (みすず書房)
- ◆「戦場のピアニスト」ウワディスワフ・シュルマン (春秋社)
- ◆「シンドラーに救われた少年」レオン・レイソフ(河出書房新社)
- ◆「観光コースでないベルリン」熊谷 徹 (高文研)
- ◆「憲法九条新鮮感覚 日本・ドイツ学生対話」加藤 周一 + 浅井イノルデ 桜井 均 編 (花伝社)
- ◆「ホロコーストの記憶」を歩く 石岡 史子・岡 裕人 (子どもの未来社)

利用ホテル・宿泊施設

- 【ワルシャワ】ホリデイインエクスプレスワルシャワエアポート、MDMシティセンター、シェラトン、カンパニール ワルシャワ、ゴールデン チューリップ ワルシャワ センター、メトロポール、ノボテルワルシャワセントラム
- 【クラクフ】ウィスピアンスキー、ギャラクシー、ヴィエンナ ハウス イージー シヨパン クラコフ、ラディソンプル クラコフ、ホテル クラシック、カンパニール クラコヴィ、ダブルツリー パイヒルトンホテル コンベンションセンター、Q クラコフ
- 【ベルリン】ウイングダムベルリンエクセルシオール、スカンディック、ベルリン、ポツダムプラッツ、パークインアレクサンダープラッツ、ヴィエナ ハウス アンデルズ、ペストウエスタン カントシュトラセ、グランドホテル ベルリンアーバン、ホリデイ イン ベルリンシティウエスト
- 【デュースブルグ】イビスデュースブルクハウプトバートンホフ、ホテル ジットルツベルク、ウイングダム デュースブルク ホフ、メルキュール ホテル デュースブルク シティ
- 【アムステルダム】ハンズプリンカーホテルアムステルダム、アヴェニューホテル、アダムザファースト-シティディックホテル、ホテルレストランテオン、カナルハウス、ホテルCC、ザバンクホテル、ホテルイルフィオーレ、ビルダーバーグガーデンホテル